

3年生タイム活動案

平成27年6月17日(水)

対象児童 3年生1名

(1) テーマ

- ・最少公倍数と日食の関係

(2) 活動のねらい

- ・身の回りに数学が利用されている場面があることを知る。
- ・最少公倍数について知ることができる。

(3) 準備物

天体の形の紙、プリント、日食の写真

(4) 展開

時間 (40分)	児童の活動	指導者の支援
導入 5分	○学生の話聞いて、日食について学ぶことを理解する。	●写真などを用意しておく
展開① 15分	○天体にはどんなものがあるのか、どんな位置関係なのかを理解する。 ○どんなときに日食が起きるのかを理解させる。	●イメージしやすいように、例えを使う ●児童を地球として、学生が天体役をして日食の状況をイメージさせる。
展開② 15分	○前回の日食の日時を教え、次にいつ日食が起きるのか考えさせる。 ○天体の周期の最小公倍数日ごとに日食が起きることを知る。	● ●九九しか習っていないので、詳しい計算内容については触れずにおく
まとめ 5分	○日食の計算以外にも、様々なところで算数は役に立っていることを知り、算数に対して新しい考え方をを見つける。	●高速道路のカーブ、携帯電話など算数があまり関係なさそうで実は関係しているものを例に挙げる。

[活動を終えての感想 (成果及び課題)]